

# 副産物情勢

7月11日 更新

JA全農ニートフーズ株式会社

項目	内 容	備 考																								
内 臓	<p>1.国産牛</p> <p>○ 5月の成牛と畜頭数は、84.6千頭(前年比96.1%)と前年を下回った。 内訳を見ると、和牛:43.1千頭(前年比102.0%)、交雑牛:20.1千頭(同97.2%)、乳牛去勢:8.9千頭(同81.9%)となった。 ○ 6月の成牛と畜頭数は、速報値(6月30日まで集計)で83.7千頭(前年比98.9%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(6月26日公表)によると、6月の出荷頭数は、乳用種が減少するものの、和牛および交雑種が増加が見込まれることから、前年同月並みと予測する。 7月は、交雑種の増加が見込まれるものの、和牛および乳用種の減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する。(6月 85.3千頭(前年比100.2%)、7月 98.3千頭(同97.8%)) 3か月平均(5月~7月)では、出荷頭数89.5千頭(前年比98.0%)、生産量28.6千ト(同97.6%)と前年同期を下回る予測となっている。 ○ 需 給 動 向 : 赤物はタン・ハラミ・ホホの通年商材の引き合いは継続、ハツ、レバーの動きも堅調。 白物は一部商品を除き全体的に余剰感が継続している。小腸は各社在庫を抱えている。</p>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年4月 26日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月 18日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月7日</td> <td>25</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和4年4月4日</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月8日</td> <td>45</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>令和6年12月2日</td> <td>48</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9	令和6年12月2日	48	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																							
	令和3年4月 26日	25	5																							
令和3年10月 18日	35	7																								
令和4年2月7日	25	5																								
令和4年4月4日	35	7																								
令和4年8月8日	45	9																								
令和6年12月2日	48	9																								
<p>2.国産豚</p> <p>○ 5月の全国豚と畜頭数は、1,297千頭と前年下回った。(前年比95.4%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道98.6%、東北97.9%、関東95.0%、北陸甲信越100.4%、東海98.5%、近畿93.5%、中四国91.9%、九州・沖縄92.9% ○ 6月の全国と畜頭数は、1,226千頭(速報値6月30日まで集計、前年比102.7%)と前年を上回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は58,371頭(前年実績:60,260頭/日、前年差▲1,889頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;6月23日付け)によると、7月;1,303千頭(前年比99%)、8月;1,291千頭(同106%)、9月;1,289千頭(同101%)、10月;1,480千頭(同102%)、11月;1,321千頭(同94%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約100%と前年並みの見込み。 ○ 需 給 動 向 : 赤物は引き続き夏場需要により全体的に堅調に推移している。 白物は、小腸・大腸ともに弱保合い傾向。ガツ・直腸は堅調推移。</p>	<p>※乳牛45円/kg *豚正貫物</p> <p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年4月19日</td> <td>25</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月 15日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月1日</td> <td>25</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年3月28日</td> <td>35</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和4年8月1日</td> <td>45</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>令和6年12月2日</td> <td>48</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5	令和6年12月2日	48	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
令和3年4月19日	25	3																								
令和3年10月 15日	35	4																								
令和4年2月1日	25	4																								
令和4年3月28日	35	4																								
令和4年8月1日	45	5																								
令和6年12月2日	48	5																								
<p>3.輸入牛</p> <p>○ 5月の輸入通関実績は、全体で48.4千トと前年並みとなった。(前年比99.8%、前月比91.2%)。 内訳ではチルド:16.2千ト(前年比91.3%、前月比109.3%)、フローズン:32.2千ト(前年比104.7%、前月比84.1%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州、メキシコが増加した。フローズンは豪州、米国が増加した。 ○ 6月、7月ともに前年同月を下回ると予測する。フローズンは、主要国のうち米国産の増加が見込まれる一方、在庫量が比較的高水準であること等により、ほとんどの輸入先からの減少が見込まれること等から、6月は前年同月並み、7月は下回ると予測している。3か月平均では、チルドは下回り、フローズンは上回ると見込んでいる。 令和7年6月 合計:45.2千ト(前年比95.0%)、チルド:15.3千ト(同86.4%)、フローズン:29.9千ト(同100.3%) 令和7年7月 合計:46.6千ト(前年比94.4%)、チルド:16.6千ト(同88.0%)、フローズン:30.0千ト(同98.5%)  ○ 輸入牛内臓実績(令和7年5月):牛腸(冷凍) :1,228.2ト(前年比87.7%・前月比133.4%) 国別実績;米国944.2ト、メキシコ204.5ト、カナダ67.9ト、豪州60.6ト、他牛レバー(冷凍):118.4ト(前年比80.8%・前月比106.2%) 国別実績;米国83.7ト、豪州24.9ト、他</p>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年7月22日</td> <td>700</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>500</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月15日</td> <td>100</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月20日</td> <td>100</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年5月24日</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月16日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																								
令和元年7月22日	700	10																								
令和2年3月16日	500	10																								
令和2年6月15日	100	10																								
令和2年7月20日	100	2																								
令和2年9月28日	10	2																								
令和3年5月24日	10	10																								
令和5年10月16日	10	2																								
原 皮	<p>1.牛原皮</p> <p>○ 輸出実績(令和7年5月):41,478枚(前年比101.9%、前月比72.0%) 国別実績;タイ37,878枚(前年比140.2%)、韓国3,600枚(同30.4%) 輸出平均価格(令和7年5月):2,469円/枚(前年差▲228円、前月差▲144円) ○ 輸入実績(令和7年5月):牛大判皮28,049枚(前年比123.5%、前月比231.8%)、ウェットブルー9,075枚※(同31.0%、同54.6%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和7年5月):牛大判皮6,560円/枚(前年差▲1,901円、前月差▲676円)、ウェットブルー10,261円/枚(同▲574円、同+2,222円) ○ 海 外 情 勢 : 貿易摩擦による先行き不透明感から、価格は下落傾向である。 ○ 国 内 情 勢 : 荷動きに特段大きな変化は見られない。安値での流通が続く。</p>	<p>4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年8月15日</td> <td>1,000</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>800</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月22日</td> <td>300</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月27日</td> <td>300</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月1日</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月23日</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																							
令和元年8月15日	1,000	10																								
令和2年3月16日	800	10																								
令和2年6月22日	300	10																								
令和2年7月27日	300	2																								
令和2年9月28日	10	2																								
令和3年6月1日	10	10																								
令和5年10月23日	10	2																								
<p>2.豚原皮</p> <p>○ 輸出実績(令和7年5月):872,240枚(前年比93.1%、前月比79.0%) 国別実績;タイ605,900枚(前年比85.1%)、ベトナム126,540枚(同112.9%)、カンボジア115,200枚(同139.5%)、韓国24,600枚(同80.7%) 輸出平均価格(令和7年5月):339円/枚(前年差▲74円、前月差▲16円) ○ 需 給 動 向 : 今年に入り、底値を脱したところから低位での弱保合いとなっていたが、ここにきてもう一段下落、ドルベースでは過去最低水準となっている。 牛皮相場下落および米国向け最終製品の不透明感から、夏場に向けさらなる価格下落が予想される。</p>																										
レンダリング	<p>1.油脂等</p> <p>○ 国産食用加工油脂向け価格(7月渡し):牛脂165円/kg(前年差+20円、前月差+10円)、豚脂165円/kg(同+10円、同+10円) 供給面では大きな動きは見られないものの、牛脂、豚脂ともに需要が堅調。 SAF向けに需給が引き締まる中、飼料向けに流れる傾向もみられ、食用向け確保の意味合いもあり値上げとなった。 ○ マレーシア産パーム油相場(6月):172円/kg(前年差±0円、前月差△43円) 5月生産量は177万トン(前月比105.1%)、輸出量は138万トン(同125.6%)、月末在庫は199万トン(同106.6%)となった。 増産期入りに伴う需給の緩和が弱材料となる一方、堅調な輸出需要や世界的なオイル高もあり、強弱材料が交錯する展開。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 ( 6 月 ) : 124円/kg(前年差+10円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 ( 6 月 ) : 105円/kg(前年差+10円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(6月):133円~136円/kg程度(前年差+10円、前月差±0円)</p>	<p>5.食用加工油脂価格 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和5年1月1日</td> <td>175</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>令和5年4月1日</td> <td>165</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>令和5年7月1日</td> <td>155</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>令和5年10月1日</td> <td>145</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>令和6年7月1日</td> <td>145</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>令和7年2月1日</td> <td>155</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>令和7年7月1日</td> <td>165</td> <td>165</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155	令和6年7月1日	145	145	令和7年2月1日	155	155	令和7年7月1日	165	165
価格改定年月日	牛脂	豚脂																								
令和5年1月1日	175	175																								
令和5年4月1日	165	175																								
令和5年7月1日	155	165																								
令和5年10月1日	145	155																								
令和6年7月1日	145	145																								
令和7年2月1日	155	155																								
令和7年7月1日	165	165																								